

概要

○自然災害等のリスクに負けない足腰の強い農業経営の実現に向けて、行政・JA・NOSAIなどの関係機関が連携した現場レベルの連携体制（タスクチーム）を構築し、地域が一体となって効果的にセーフティネット制度への加入を促進していく。

背景／課題

【背景】

・凍霜害や大雨、大雪、高温・少雨等、自然災害の頻発・激甚化、新型コロナの影響に伴う農産物価格の低下など、様々なリスクが増大

【これまでの取り組み】

<令和3年度>

「農業セーフティネット加入促進協議会」設置

<令和4年度>

- ① 農業者の理解促進に向けた研修の開催支援
- ② 収入保険の新規加入者に対する保険料助成

【収入保険の加入者数】

対象期間	加入者数	対前年増加数
令和3年	1,640 (17.9%)	586
令和4年	2,292 (25.1%)	652
令和5年	3,054 (33.4%)	762

※（ ）は青色申告者（9,143経営体）に占める割合

※ 令和5年は、令和5年8月末時点

【課題】

- ・これまでの保険料助成等の取り組みで一定の成果は得られたが、非加入者に対するアンケートの結果、加入しない理由として「加入の必要性を感じていない」が最も多い
- ・さらなる加入促進には、農業者の経営リスクに対する意識や、セーフティネット加入の重要性に対する意識を高めていくことが必要

農業経営セーフティネット加入促進タスクチームの設置(令和5年度～)

経営リスクやセーフティネットの重要性に関する農業者の意識を高め、必要な制度を選択できるよう、4地域を基本に「農業経営セーフティネット加入促進タスクチーム」を設置し、市町村・JA・NOSAI山形・県等の職員が現場レベルで連携した加入促進活動を展開

○構 成 員： 市町村、JA、NOSAI山形、東北農政局山形県拠点、各総合支庁農業振興課・農業技術普及課

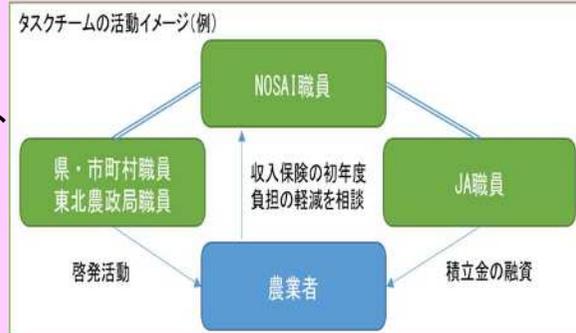
○活動内容： ・各構成員が実施する研修会等の場など機会を捉えてセーフティネットの必要性等を説明

- ・啓発から相談、加入まで一体で支援
- ・各構成員間における効果的な加入促進策の情報共有 など

○ポイント ・各タスクチーム内で目標を設定し、達成に向け、一体となって取り組む連携体制を構築

<タスクチーム活動目標の例>

- ◆ 収入保険の加入割合35%
- ◆ 果樹共済の加入戸数230経営体



市町村への取組要請

- ・補助事業等の相談時や各種説明会などの機会を捉え、農業者に対するセーフティネット制度の情報提供や加入の働きかけを行っていただくとともに、タスクチーム内で積極的に情報共有をいただきたい